

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### 1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

#### ア 学生の確保の見通し

##### (1) 定員充足の見込み

本専攻は一般選抜及び社会人選抜により入学者を選抜するため、選抜毎に学生確保の見通しを示す。なお、入学定員数は8名である。コース毎の定員は設定していないが、1コースあたりは定員の半数の概ね4名の入学生の受入を想定している。以下に述べる整復医療分野及び救急医療分野のアンケート調査結果から、各コースにおいて一般選抜で2～3名、社会人選抜で1～2名の受入を想定している。研究指導体制を勘案すると入学定員数の8名は妥当である。また、修士課程修了後は、博士後期課程への進学（本専攻が予定している博士後期課程を含む）、本学教員（助教等）、医療機関や消防等からのニーズ（業界からの要望）を鑑み、養成する人材の質の担保を前提として、本専攻の設置の理念を達成するためにも、定員の8名は受け入れなければならない員数と考えている。

##### ① 一般選抜

本学保健医療学部1～3年生（平成26年度開設のため、4年生は不在）を対象に、本研究科への入学意志等に関するアンケート調査を実施した。**資料1** **資料2**

現時点での最上位学年である3年生は、回答者166名中59名（35.5%）が「本研究科への進学を希望する」、「本研究科を進路先の候補の1つとして考える」と回答しており、保健医療学部生は修士課程における更なる高度知識・技術への学修意欲を備えていることがうかがえる。「進学を希望する」と回答した者はうち7名だが、「本研究科を進路先の候補の1つとして考える」と回答した52名の進学検討者数を鑑みると、十分に学生を確保できる見通しがあると判断する。

##### ② 社会人選抜

医療系資格を持つ有職者で、2年以上の経験年数を有する社会人を対象に、入学意志等に関するアンケート調査を実施した。**資料3** **資料4**

その結果、回答者46名中9名（20%）が「本研究科への進学を希望する」、25名（54%）が「本研究科を進路先の候補の1つとして考える」と回答しており、医療に関わる現場等において、就職後のさらなるキャリアアップや知識吸収の必要性を感じている人が少なくない。

また、厚生労働省が発表した柔道整復師学校・養成施設数、定員年度別推移（データの引用元＝根拠）によると、文部科学大臣指定（認定）柔道整復師学校は平成14（2002）年の1校から、平成27（2015）年で16校に増加しており、近年、増加傾向にある。柔道整復師養成校は専門学校が主であるが、より高度な学問を学び得る大学へ進学する学生が増加し、平成27（2015）年現在では、柔道整復師養成大学の入学定員は年間859名となっている。

柔道整復師養成学校で教員になるためには、柔道整復師免許を取得したのちに、公益社団法人全国柔道整復学校協会が主催する専科教員認定講習会（合計228時間）を受講し、教員免許の取得となる。しかし、大学の増加に伴い、より高度で専門性の高い教育が求められる中、教

員自身が学位を取得する傾向が高まっている。事実、学校法人日本体育大学 日体柔整専門学校においては、現教員7名のうち5名が就職後大学院に社会人として進学し、修士の学位を取得している。

したがって、18歳人口の高等教育機関への進学率が約80%（平成27年度学校基本調査公表値は79.8%）の現代、柔道整復師養成校の教育現場においてこそ、より専門性の高い大学院への進学が切実となっており、社会人選抜においても学生の確保が見込める。

## （２）定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

### ① 在学生対象保健医療学研究科保健医療学専攻（仮称）設置に関わるアンケート

平成28年8月上旬に保健医療学部1～3年生499名を対象とし、研究科・専攻名称、開設時期、立地場所、学費、競合する大学院・研究科、設置の理念、養成する人物像を提示の上、アンケート調査(選択肢式計6問)を行った。**資料1** **資料2**

### ② 社会人対象保健医療学研究科保健医療学専攻（仮称）設置に関わるアンケート

平成29年1月下旬に医療系資格を持つ有職者で、2年以上の経験年数を有する社会人46名を対象とし、研究科・専攻名称、開設時期、立地場所、学費、競合する大学院・研究科、設置の理念、養成する人物像を提示の上、アンケート調査(選択肢式計5問)を行った。

**資料3** **資料4**

### ③ 基礎となる学部の定員充足の状況

保健医療学部は平成26(2014)年4月に開設したため、開設時から過去3年分のデータを集計した。安定して定員を充足している。**資料5**

## （３）学生納付金の設定の考え方

教育の質を担保するためには、適切な学生納付金の設定が必要である。日本私立学校振興・共済事業団のデータをまとめた「私立大学等の平成26(2014)年度入学者に係る学納金等調査」（文部科学省ホームページより）によると初年度学生納付金(授業料、入学料、施設設備費の合計)については、博士前期課程の平均額（1人当たり）は1,030,777円である。

また、同系学科を設置する近隣の学生納付金を参考とし、教育の質の維持と他大学とのバランスを考慮して以下の通り決定した。**資料6**

入 学 金：300,000円（本学卒業生については、半額を免除）

授 業 料：800,000円

健康管理費：10,000円

## イ 学生確保に向けた具体的な取組状況

### (1) インターネット等を利用した広報活動の展開

本学の教育・研究活動、クラブ活動、地域・社会貢献活動等に関する情報を広く社会に発信できるようホームページが開設されている。また、受験生や本学卒業生とのコミュニケーションツールのひとつとして、フェイスブックなどのいわゆるSNSを通じたリアルタイムでの情報提供にも努めている。また最近のスマートフォンの普及にあわせ、本学の最新情報を配信する専用のアプリケーションを整備している。

### (2) 保健医療学部生に向けた説明会の実施

#### a. 新入生オリエンテーション期間での説明会実施

新入生オリエンテーションの一環として、保健医療学部新入生に向けて保健医療学研究科の説明会を実施する。

#### b. 日体スキルアップセミナーでの説明会実施

夏期、冬期の年2回、全学部生を対象に日体スキルアップセミナーを実施している。これは主に職業観の醸成を目的としたプログラムで構成しており、この一環として、保健医療学部生に向けて保健医療学研究科の説明会を実施する。

#### c. 研究科所属教員による進学相談

保健医療学研究科を担当する専任教員のオフィスアワーを利用し、大学院進学希望者の個別進学相談を実施し、学生募集体制を強化する。

### (3) 学生納付金の減免制度

本学卒業生については、入学金(30万円)の半額を免除する。

その他、各種の公的な奨学金制度の活用を奨励する。

## 2. 人材需要の動向等社会の要請

### ア 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)

#### (1) 養成する人材像(ディプロマ・ポリシー)

本研究科では、本学の教育理念に基づき、総合的な医療人としての高い倫理観と高度な専門知識・技能・問題解決能力を有し、将来、スポーツ救急に関する指導者や教育研究者となる人材の育成を目的としている。以下の要件を満たす者に学位を授与する。

1. 最新の医学や社会情勢を常に学ぶ姿勢を有し、研究課題に取り組むことができる。
2. 柔道整復学や救急・災害医療学における専門知識・技能・問題解決能力を有し、科学的根拠に基づく医療を実践できる。
3. 臨床現場における技術指導や研究手法を指導できる。

## （２）教育研究上の目的

本学は平成26(2014)年4月に「保健医療学部」を開設してきたところであるが、平成30(2018)年3月に完成年度を迎えることから、この学部卒業生の高度実践者や教育者の育成及び研究の継続性を確保することが命題となった。

本学の教育理念は「深く保健、医療、福祉に関する専門的な学問の教授・研究、及び職業と社会生活に必要な教育を施し、高い倫理観に基づく人間形成を重んじ、国民の保健衛生に寄与する」ことである。この理念と本学のこれまでの実績を踏まえ、保健・医療・福祉を包括する専門学部を創設し、高度な専門知識・技術と、豊かな人間性、高い倫理観を備えた質の高い医療人を育成することは高齢社会のニーズに合致している。

以上のことから、保健医療学部を基礎とする「保健医療学研究科修士課程」を設置し、高度実践柔道整復師コースにおいては「医療従事者としての高い倫理観」「研究者としての資質」「高度の医学知識と科学的根拠に基づく臨床的技量（柔道整復術）」「臨床現場での指導者としての資質」を備えた「高度実践柔道整復師」を、救急災害医療学コースにおいては本学の特徴である体育・スポーツにおけるファーストレスポnder（救急初期対応者）から救急救命士による救急救命処置を含め、高度化する病院前救急救命・災害医療に対応し得る臨床能力を備えた教育・研究分野で病院前救急救命・災害医療の指導者となる人材を育成する。

## イ 上記アが社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえたものであることの客観的な根拠

### 高度実践柔道整復師コース

#### （１）少子高齢社会の到来

わが国では急速な高齢者人口の増加と少子化により、本格的な少子高齢社会を迎える。少子高齢社会を活力あるものにするためには、ケガの治療やリハビリテーションのみならず、予防医学や抗老化（アンチエイジング）の見地から、健康の維持増進、すなわち健康寿命の延長が不可欠であり、当該分野への関心や期待がこれまでになく高まっている。

このような社会的ニーズに対応するために、保健医療を核として運動に関する多様な分野を横断的に探求し、子供から高齢者に至る幅広い層の人々の心身の健康の改善を含めたQOL(quality of life;生活の質)の向上を図るとともに、明るく豊かで活力ある生活の実現に貢献できる感性豊かで、科学的根拠に基づく高度の臨床技量を有する臨床現場の指導者（高度実践柔道整復師）が強く求められている。

#### （２）関係機関からの要望

関係機関からも、本研究科の開設による「指導的立場の柔道整復師の増加」、「柔道整復師教育の推進」に大きな期待がされており、その要望がなされているところである。

資料 7 資料 8

### （３）柔道整復の施術所（接骨院・整骨院）の増加

柔道整復の施術所（接骨院・整骨院）は平成 27(2016)年現在 45,572 施設あり、この 10 年間で 17,801 施設増加、直近 2 年間に於いて 3,141 施設増加している。接骨院・整骨院は年間延べ約 5,100 万人の人々が利用しており、広く国民に浸透しているが、免許取得後の数年の研修期間を経て開業できることが、医療のみならず社会全般の仕組みとはかけ離れている。それ故、柔道整復師は国民の健康維持と増進の一翼を担っているという自覚と高い倫理観を備え、接骨院・整骨院を利用する人々が安全で適切な医療を安心して受けられるという柔道整復師の質の保証（一定レベル以上の医療の提供能力）が不可欠である。

## 救急災害医療学コース

### （１）救急出動件数、搬送人員の増加

救急出動件数は年々増加している。平成27(2015)年度版消防白書によると、平成26(2014)年度の救急自動車による出動件数は5,894,921件であり、搬送人員（5,405,917人）とともに過去最高を記録した。中でも高齢者の搬送が全体の55.5%を占め、高齢社会を迎えた今、搬送件数の増加は留まる事を知らない。

入院加療を必要としない軽症の傷病者搬送の割合も約50%であり、この安易な救急出動の影響により救急車の平均現場到着時間は8.6分になり、10年前と比べ2.2分増加している。医療機関への傷病者の受け入れ体制も十分とは言えず、病院前救護/医療の需要と供給のミスマッチは解決されていない。救急隊に到着前に対応するファーストレスポnder（救急初期対応者）と救急救命士の連携を含めた救急システムの構築が必要である。

### （２）救急医療への社会的関心

近年救急医療への社会的関心は高まっており、報道やSNS（Social Networking Service）等で高齢者による交通事故の増加、傷病者への不適切な対応につながる病院前救護体制で生じた諸問題点が注目されている。特に学校や職場、スポーツにおける事故（突然の心肺停止・頭部外傷・熱中症、アナフィラキシーなど）では、環境や運営体制上の問題点が指摘され、適切な状況で実施されたのか、また常に十分な初期対応が実施されていたのかが、問われるようになっている。突然死を来した場合では、より早期にAEDが実施されたのか、またアドレナリン自己注射薬が適切に使用されたかが、医療従事者だけでなく、一般にも議論されるようになった。

### （３）自然災害及びテロ被害の拡大

世界規模で自然災害の件数が増加している。大規模地震や津波の被害が発生し、日本も例外ではない。東日本大震災や熊本地震に限らず、毎年のように台風による水害が全国各地で起こっている。内閣府の報告によると、毎年、世界では自然災害により約1億6千万人が被災し、約10万人の命が奪われ、1970年代に比べて、発生件数、被災者数ともに約3倍に増加している。アジアでは、平成16（2004）年末のインド洋津波災害や約9万人の犠牲者を出した平成20（2008）年の中国四川大地震があり、日本では平成6（1994）年阪神淡路大震災や、平成16（2004）年新潟県中越地震、平成19（2007）年新潟県中越沖地震、そして平成23（2011）年東日本大震災、平成28（2016）年熊本地震などで多くの方が被害に遭われている。

また、テロに対する被害も拡大している。平成13（2001）年の米同時多発テロ以降の過去10年間で、4倍以上のテロが発生し、日本人が被害に巻き込まれる事案も起こっている。

自然災害やテロ事案などに対応するには、平時から防災・減災対策を行い、発災後に救急医療から災害医療への切り替えることが必要である。また、USAR(urban search and rescue:都

市型搜索救助)で行われる「瓦礫の下の医療 (Confined Space medicine)」や、テロ対策における「特殊災害医療」は、医療だけでなく救助と連携する必要があり、幅広い領域に関連した知識と技術が求められる。さらに、災害医療を実践するためにはロジスティクス（後方支援）が必要であり、災害時の情報管理や物資・移動手段の確保など災害医療体制構築で大きな役割を担う。これらの災害医療やロジスティクス業務を含めた災害医療体制構築において指導できる人材の育成が求められている。

このような「救急・災害医療システム」という分野における需要の増加に対して、より高度な臨床能力をもち、教育・研究分野で指導的な立場となる救急救命士が求められている。

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### 資 料 目 次

- 【資料 1】 在学生対象 保健医療学研究科保健医療学専攻（仮称）設置に関わるアンケート
- 【資料 2】 在学生対象 保健医療学研究科保健医療学専攻（仮称）設置に関わるアンケート結果集計表
- 【資料 3】 社会人対象 保健医療学研究科保健医療学専攻（仮称）設置に関わるアンケート
- 【資料 4】 社会人対象 保健医療学研究科保健医療学専攻（仮称）設置に関わるアンケート結果集計表
- 【資料 5】 保健医療学部の入試状況
- 【資料 6】 競合校との学生納付金比較
- 【資料 7】 柔道整復師の人材育成に関する要望書
- 【資料 8】 日本体育大学保健医療学研究科高度実践柔道整復師コース設置に関する要望書

## 在学生対象 保健医療学研究科保健医療学専攻（仮称）設置に関わるアンケート

この度、日本体育大学では保健医療学部を基礎とする大学院研究科として、保健医療学研究科（仮称）の設置準備をすすめております。

このアンケート調査は保健医療学部在学生の卒業後の進路などについてお聞きし、研究科設置における参考資料とするものです。下記の概要を参照のうえ、アンケートの回答にご協力ください。

### 保健医療学研究科（仮称）の概要

◇名称：保健医療学研究科 保健医療学専攻（博士前期課程 修業年限 2 年）

・高度実践柔道整復師コース ・救急災害医療学コース

◇開設時期：平成 30（2018）年度 4 月

◇立地場所：神奈川県横浜市青葉区鴨志田町 1221-1（日本体育大学 横浜・健志台キャンパス）

◇学費：入学金（初年度のみ）150,000 円、授業料 900,000 円、健康管理費 10,000 円

◇競合する大学院・研究科：

＜高度実践柔道整復師コース＞

帝京平成大学大学院 健康科学研究科 柔道整復学専攻、帝京大学大学院医療技術学研究科 柔道整復学専攻など

＜救急災害医療学コース＞

国土舘大学大学院 救急システム研究科、杏林大学大学院 保健学研究科 保健学専攻など

◇設置の理念：

創立 125 年の歴史・実績と「深く保健、医療、福祉に関する専門的な学問の教授・研究、及び職業と社会生活に必要な教育を施し、高い倫理観に基づく人間形成を重んじ、国民の保健衛生に寄与する」とした本学の教育理念を踏まえ、保健・医療・福祉を包括する保健医療学部を基礎とした新たな研究科を創設し、高度な専門知識・技術と豊かな人間性、高い倫理観を備えた質の高い医療人を育成することが高齢社会のニーズに合致する。

◇養成する人物像：

＜高度実践柔道整復師コース＞

- ・ 整復医療分野とその関連領域の専門知識を有し、問題を解決するための研究手法を理解できる者
- ・ 国民の健康維持と増進の一翼を担っているという自覚と品格を持ち、臨床現場に置いて科学的根拠に基づく治療法を実践できる者
- ・ 骨・筋・関節などいわゆる運動器の損傷に対する適切な医学知識とその臨床応用能力、臨床的技量（柔道整復術）を身に付け、研究成果を臨床現場に還元・応用できる者

＜救急災害医療学コース＞

- ・ 高度な医学知識に基づいた観察・判断・処置ができる臨床能力を有し、病院前救急救命・災害医療分野の研究を実践し、救急救命・災害に携わるすべての職種に教育できる能力を持つもの。

（注）研究科・専攻の名称、学費等は予定であり、変更となる場合があります。

該当する番号に○をつけてください

問1. 学年

1 1年生      2 2年生      3 3年生

問2. 学科

1 整復医療学科      2 救急医療学科

問3. 性別

1 男性      2 女性

問4. 条件が整えば、上記の大学院へ進学したいと思いますか。(単一選択)

1 進学を希望する      2 進路先の候補の一つとして考える      3 進学を希望しない

問5. 問4で1、2のいずれかを選択した方に質問です。

あなたが大学院で学ぶ目的は何ですか？（複数選択可）

1 修士学位の取得      2 研究能力や知識の向上      3 臨床経験  
4 大学教員や他の院生とのネットワークづくり      5 管理職などへのキャリア形成  
6 国際経験      7 その他（ ）

問6. あなたが大学院に通う場合、どのような時間帯を希望しますか。(単一選択)

1 平日昼間      2 平日夜間      3 週末昼間      4 週末夜間  
5 その他（ ）

ご協力ありがとうございました。

## 資料2

### 在学生対象 保健医療学研究科保健医療学専攻（仮称） 設置に関わるアンケート結果集計表

#### ◆調査方法

研究科・専攻名称、開設時期、立地場所、学費、競合する大学院・研究科、設置の理念、養成する人物像を提示の上、アンケート調査(選択肢式)を行った。

◆調査対象 保健医療学部生499名

◆調査内容 選択肢式計6問の質問

◆調査時期 平成28年8月上旬

問1～問3にて回答者の「学科」、「学年」、「性別」を調査

|                |         |        |
|----------------|---------|--------|
| 整復医療学科<br>274名 | 1年生 93名 | 男性 56名 |
|                |         | 女性 37名 |
|                | 2年生 93名 | 男性 50名 |
|                |         | 女性 43名 |
|                | 3年生 88名 | 男性 56名 |
|                |         | 女性 32名 |
| 救急医療学科<br>225名 | 1年生 79名 | 男性 65名 |
|                |         | 女性 14名 |
|                | 2年生 68名 | 男性 57名 |
|                |         | 女性 11名 |
|                | 3年生 78名 | 男性 65名 |
|                |         | 女性 13名 |

問4. 条件が整えば、本大学院へ進学したいと思いますか。（単一選択）

|        |     | 合計   | 進学を希望する | 進路先の候補の1つとして考える | 進学を希望しない |
|--------|-----|------|---------|-----------------|----------|
| 整復医療学科 | 1年生 | 93名  | 4名      | 35名             | 54名      |
|        |     | 100% | 4%      | 38%             | 58%      |
|        | 2年生 | 93名  | 3名      | 38名             | 52名      |
|        |     | 100% | 3%      | 41%             | 56%      |
|        | 3年生 | 88名  | 1名      | 25名             | 62名      |
|        |     | 100% | 1%      | 28%             | 70%      |
|        | 計   | 274名 | 8名      | 98名             | 168名     |
|        |     | 100% | 3%      | 36%             | 61%      |
| 救急医療学科 | 1年生 | 79名  | 1名      | 29名             | 49名      |
|        |     | 100% | 0%      | 13%             | 22%      |
|        | 2年生 | 68名  | 3名      | 26名             | 39名      |
|        |     | 100% | 1%      | 12%             | 17%      |
|        | 3年生 | 78名  | 6名      | 27名             | 45名      |
|        |     | 100% | 3%      | 12%             | 20%      |
|        | 計   | 225名 | 10名     | 82名             | 133名     |
|        |     | 100% | 4%      | 36%             | 59%      |
| 全体     |     | 499名 | 18名     | 180名            | 301名     |
|        |     | 100% | 4%      | 36%             | 60%      |

【問４で「進学を希望する」「進路先の候補の1つとして考える」と回答した198名への設問】

問５．あなたが大学院で学ぶ目的は何ですか？（複数選択可）

|        |     | 合計   | 修士学位の<br>取得 | 研究能力や<br>知識の向上 | 臨床経験 | 大学教員や他<br>の院生との<br>ネットワーク<br>づくり | 管理職などへ<br>のキャリア形<br>成 | 国際経験 | その他 |
|--------|-----|------|-------------|----------------|------|----------------------------------|-----------------------|------|-----|
| 整復医療学科 | 1年生 | 39名  | 15名         | 23名            | 21名  | 9名                               | 3名                    | 5名   | 0名  |
|        |     | 100% | 38%         | 59%            | 54%  | 23%                              | 8%                    | 13%  | 0%  |
|        | 2年生 | 41名  | 23名         | 26名            | 21名  | 12名                              | 8名                    | 11名  | 1名  |
|        |     | 100% | 56%         | 63%            | 51%  | 29%                              | 20%                   | 27%  | 2%  |
|        | 3年生 | 26名  | 14名         | 19名            | 13名  | 7名                               | 4名                    | 1名   | 1名  |
|        |     | 100% | 54%         | 73%            | 50%  | 27%                              | 15%                   | 4%   | 4%  |
|        | 計   | 106名 | 52名         | 68名            | 55名  | 28名                              | 15名                   | 17名  | 2名  |
|        |     | 100% | 49%         | 64%            | 52%  | 26%                              | 14%                   | 16%  | 2%  |
| 救急医療学科 | 1年生 | 30名  | 11名         | 20名            | 12名  | 6名                               | 6名                    | 5名   | 0名  |
|        |     | 100% | 37%         | 67%            | 40%  | 20%                              | 20%                   | 17%  | 0%  |
|        | 2年生 | 29名  | 19名         | 16名            | 14名  | 4名                               | 8名                    | 11名  | 0名  |
|        |     | 100% | 66%         | 55%            | 48%  | 14%                              | 28%                   | 38%  | 0%  |
|        | 3年生 | 33名  | 16名         | 21名            | 18名  | 9名                               | 5名                    | 11名  | 0名  |
|        |     | 100% | 48%         | 64%            | 55%  | 27%                              | 15%                   | 33%  | 0%  |
|        | 計   | 92名  | 46名         | 57名            | 44名  | 19名                              | 19名                   | 27名  | 0名  |
|        |     | 100% | 50%         | 62%            | 48%  | 21%                              | 21%                   | 29%  | 0%  |
| 全体     |     | 198名 | 98名         | 125名           | 99名  | 47名                              | 34名                   | 44名  | 2名  |
|        |     | 100% | 49%         | 63%            | 50%  | 24%                              | 17%                   | 22%  | 1%  |

その他：「就職の幅を広げるため」、「資格の取得が可能なら取得したいため」

問６．あなたが大学院に通う場合、どのような時間帯を希望しますか。（単一選択）

|        |     | 合計<br>無回答を除く | 平日昼間 | 平日夜間 | 週末昼間 | 週末夜間 | その他 | 無回答  |
|--------|-----|--------------|------|------|------|------|-----|------|
| 整復医療学科 | 1年生 | 79名          | 47名  | 25名  | 5名   | 2名   | 0名  | 14名  |
|        |     | 100%         | 59%  | 32%  | 6%   | 3%   | 0%  |      |
|        | 2年生 | 61名          | 36名  | 20名  | 4名   | 1名   | 0名  | 32名  |
|        |     | 100%         | 59%  | 33%  | 7%   | 2%   | 0%  |      |
|        | 3年生 | 51名          | 25名  | 22名  | 4名   | 0名   | 0名  | 37名  |
|        |     | 100%         | 49%  | 43%  | 8%   | 0%   | 0%  |      |
|        | 計   | 191名         | 108名 | 67名  | 13名  | 3名   | 0名  | 83名  |
|        |     | 100%         | 57%  | 35%  | 7%   | 2%   | 0%  |      |
| 救急医療学科 | 1年生 | 51名          | 40名  | 6名   | 5名   | 0名   | 0名  | 28名  |
|        |     | 100%         | 78%  | 12%  | 10%  | 0%   | 0%  |      |
|        | 2年生 | 43名          | 33名  | 2名   | 3名   | 3名   | 2名  | 25名  |
|        |     | 100%         | 77%  | 5%   | 7%   | 7%   | 5%  |      |
|        | 3年生 | 62名          | 46名  | 3名   | 7名   | 4名   | 2名  | 16名  |
|        |     | 100%         | 74%  | 5%   | 11%  | 6%   | 3%  |      |
|        | 計   | 156名         | 119名 | 11名  | 15名  | 7名   | 4名  | 69名  |
|        |     | 100%         | 76%  | 7%   | 10%  | 4%   | 3%  |      |
| 全体     |     | 347名         | 227名 | 78名  | 28名  | 10名  | 4名  | 152名 |
|        |     | 100%         | 65%  | 22%  | 8%   | 3%   | 1%  |      |

その他：「いつでも」、「消防で働きながら通える時間」、「職場との兼ね合い」、「都合に合う時間帯」

## 社会人対象 保健医療学研究科保健医療学専攻（仮称）設置に関わるアンケート

この度、日本体育大学では保健医療学部を基礎とする大学院研究科として、保健医療学研究科（仮称）の設置準備をすすめております。

このアンケート調査は研究科設置における参考資料とするものです。下記の概要を参照のうえ、アンケートの回答にご協力ください。

### 保健医療学研究科（仮称）の概要

◇名称：保健医療学研究科 保健医療学専攻（博士前期課程 修業年限2年）

・高度実践柔道整復師コース ・救急災害医療学コース

◇開設時期：平成30（2018）年度4月

◇立地場所：神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221-1（日本体育大学 横浜・健志台キャンパス）

◇学費：入学金（初年度のみ）150,000円、授業料900,000円、健康管理費10,000円

◇競合する大学院・研究科：

＜高度実践柔道整復師コース＞

帝京平成大学大学院 健康科学研究科 柔道整復学専攻、帝京大学大学院医療技術学研究科 柔道整復学専攻など

＜救急災害医療学コース＞

国土舘大学大学院 救急システム研究科、杏林大学大学院 保健学研究科 保健学専攻など

◇設置の理念：

創立125年の歴史・実績と「深く保健、医療、福祉に関する専門的な学問の教授・研究、及び職業と社会生活に必要な教育を施し、高い倫理観に基づく人間形成を重んじ、国民の保健衛生に寄与する」とした本学の教育理念を踏まえ、保健・医療・福祉を包括する保健医療学部を基礎とした新たな研究科を創設し、高度な専門知識・技術と豊かな人間性、高い倫理観を備えた質の高い医療人を育成することが高齢社会のニーズに合致する。

◇養成する人物像：

＜高度実践柔道整復師コース＞

- ・ 整復医療分野とその関連領域の専門知識を有し、問題を解決するための研究手法を理解できる者
- ・ 国民の健康維持と増進の一翼を担っているという自覚と品格を持ち、臨床現場に置いて科学的根拠に基づく治療法を実践できる者
- ・ 骨・筋・関節などいわゆる運動器の損傷に対する適切な医学知識とその臨床応用能力、臨床的技量（柔道整復術）を身に付け、研究成果を臨床現場に還元・応用できる者

＜救急災害医療学コース＞

- ・ 高度な医学知識に基づいた観察・判断・処置ができる臨床能力を有し、病院前救急救命・災害医療分野の研究を実践し、救急救命・災害に携わるすべての職種に教育できる能力を持つもの。

（注）研究科・専攻の名称、学費等は予定であり、変更となる場合があります。

該当する番号に○をつけてください

問1. 所属

- 1 消防機関      2 医療機関      3 公的機関（海上保安庁・自衛隊・警察等）  
4 一般企業      5 その他（ ）

問2. 性別

- 1 男性      2 女性

問3. 条件が整えば、上記の大学院へ進学したいと思いますか。(単一選択)

- 1 進学を希望する    2 進路先の候補の一つとして考える    3 進学を希望しない

問4. 問4で1、2のいずれかを選択した方に質問です。

あなたが大学院で学ぶ目的は何ですか？（複数選択可）

- 1 修士学位の取得    2 研究能力や知識の向上    3 臨床経験  
4 大学教員や他の院生とのネットワークづくり    5 管理職などへのキャリア形成  
6 国際経験    7 その他（ ）

問5. あなたが大学院に通う場合、どのような時間帯を希望しますか。(単一選択)

- 1 平日昼間      2 平日夜間      3 週末昼間      4 週末夜間  
5 その他（ ）

ご協力ありがとうございました。

社会人対象 保健医療学研究科保健医療学専攻（仮称）  
設置に関わるアンケート結果集計表

- ◆調査方法  
研究科・専攻名称、開設時期、立地場所、学費、競合する大学院・研究科、設置の理念、養成する人物像を提示の上、アンケート調査(選択肢式)を行った。
- ◆調査対象 医療系資格を持つ有職者で、2年以上の経験年数を有する社会人46名
- ◆調査内容 選択肢式計5問の質問
- ◆調査時期 平成29年1月下旬

問1～問2にて回答者の「所属先」、「性別」を調査

|            |                             |        |
|------------|-----------------------------|--------|
| 社会人<br>46名 | 消防機関 33名                    | 男性 32名 |
|            |                             | 女性 1名  |
|            | 医療機関 7名                     | 男性 7名  |
|            |                             | 女性 0名  |
|            | 公的機関 4名<br>(海上保安庁・自衛隊・警察など) | 男性 4名  |
|            |                             | 女性 0名  |
|            | 一般企業 2名                     | 男性 1名  |
|            |                             | 女性 1名  |

問3. 条件が整えば、本大学院へ進学したいと思いますか。（単一選択）

| 所属先                      | 合計   | 進学を希望する | 進路先の候補の1つとして考える | 進学を希望しない |
|--------------------------|------|---------|-----------------|----------|
| 消防機関                     | 33名  | 7名      | 15名             | 11名      |
|                          | 100% | 21%     | 45%             | 33%      |
| 医療機関                     | 7名   | 1名      | 6名              | 0名       |
|                          | 100% | 14%     | 86%             | 0%       |
| 公的機関<br>(海上保安庁・自衛隊・警察など) | 4名   | 1名      | 3名              | 0名       |
|                          | 100% | 25%     | 75%             | 0%       |
| 一般企業                     | 2名   | 0名      | 1名              | 1名       |
|                          | 100% | 0%      | 50%             | 50%      |
| 全体                       | 46名  | 9名      | 25名             | 12名      |
|                          | 100% | 20%     | 54%             | 26%      |

【問3で「進学を希望する」「進路先の候補の1つとして考える」と回答した34名への設問】

問4. あなたが大学院で学ぶ目的は何ですか？（複数選択可）

| 所属先                      | 合計   | 修士学位の<br>取得 | 研究能力や<br>知識の向上 | 臨床経験 | 大学教員や他<br>の院生との<br>ネットワーク<br>づくり | 管理職などへ<br>のキャリア形<br>成 | 国際経験 | その他 |
|--------------------------|------|-------------|----------------|------|----------------------------------|-----------------------|------|-----|
| 消防機関                     | 22名  | 11名         | 20名            | 6名   | 3名                               | 5名                    | 3名   | 0名  |
|                          | 100% | 50%         | 91%            | 27%  | 14%                              | 23%                   | 14%  | 0%  |
| 医療機関                     | 7名   | 7名          | 7名             | 1名   | 0名                               | 2名                    | 1名   | 0名  |
|                          | 100% | 100%        | 100%           | 14%  | 0%                               | 29%                   | 14%  | 0%  |
| 公的機関<br>(海上保安庁・自衛隊・警察など) | 4名   | 3名          | 3名             | 2名   | 0名                               | 2名                    | 2名   | 0名  |
|                          | 100% | 75%         | 75%            | 50%  | 0%                               | 50%                   | 50%  | 0%  |
| 一般企業                     | 1名   | 1名          | 1名             | 1名   | 0名                               | 0名                    | 0名   | 0名  |
|                          | 100% | 100%        | 100%           | 100% | 0%                               | 0%                    | 0%   | 0%  |
| 全体                       | 34名  | 22名         | 31名            | 10名  | 3名                               | 9名                    | 6名   | 0名  |
|                          | 100% | 65%         | 91%            | 29%  | 9%                               | 26%                   | 18%  | 0%  |

問5. あなたが大学院に通う場合、どのような時間帯を希望しますか。（単一選択）

| 所属先                      | 合計   | 平日昼間 | 平日夜間 | 週末昼間 | 週末夜間 | その他 |
|--------------------------|------|------|------|------|------|-----|
| 消防機関                     | 33名  | 18名  | 5名   | 2名   | 5名   | 3名  |
|                          | 100% | 55%  | 15%  | 6%   | 15%  | 9%  |
| 医療機関                     | 7名   | 2名   | 4名   | 1名   | 0名   | 0名  |
|                          | 100% | 29%  | 57%  | 14%  | 0%   | 0%  |
| 公的機関<br>(海上保安庁・自衛隊・警察など) | 4名   | 1名   | 0名   | 1名   | 2名   | 0名  |
|                          | 100% | 25%  | 0%   | 25%  | 50%  | 0%  |
| 一般企業                     | 2名   | 0名   | 2名   | 0名   | 0名   | 0名  |
|                          | 100% | 0%   | 100% | 0%   | 0%   | 0%  |
| 全体                       | 46名  | 21名  | 11名  | 4名   | 7名   | 3名  |
|                          | 100% | 46%  | 24%  | 9%   | 15%  | 7%  |

その他：「変則勤務に対応した時間」、「勤務状況に合わせて」

## 保健医療学部の入試状況

| 区分     | 項目    | 平成28年度 | 平成27年度 | 平成26年度 |
|--------|-------|--------|--------|--------|
| 保健医療学部 | 志願者数  | 357    | 356    | 248    |
|        | 受験者数  | 340    | 336    | 237    |
|        | 合格者数  | 217    | 219    | 230    |
|        | 入学者数  | 183    | 185    | 187    |
|        | 入学超過率 | 1.07   | 1.08   | 1.10   |
| 整復医療学科 | 志願者数  | 214    | 177    | 129    |
|        | 受験者数  | 207    | 170    | 126    |
|        | 合格者数  | 113    | 108    | 121    |
|        | 入学者数  | 99     | 99     | 99     |
|        | 入学超過率 | 1.10   | 1.10   | 1.10   |
| 救急医療学科 | 志願者数  | 143    | 179    | 119    |
|        | 受験者数  | 133    | 166    | 111    |
|        | 合格者数  | 104    | 111    | 109    |
|        | 入学者数  | 84     | 86     | 88     |
|        | 入学超過率 | 1.05   | 1.07   | 1.10   |

※保健医療学部は平成26年4月開設の学部のため過去3年間の集計数を示す。

競合校との学生納付金比較

| 大学名    | 研究科名                          | 入学金(初年次のみ)     | 授業料            | その他           | 初年次合計            |
|--------|-------------------------------|----------------|----------------|---------------|------------------|
| 日本体育大学 | 体育科学研究科                       | 300,000        | 738,000        | 10,000        | 1,048,000        |
|        | 教育学研究科<br>(実践教科教育学専攻)         | 300,000        | 800,000        | 10,000        | 1,110,000        |
|        | <u>保健医療学研究科<br/>(保健医療学専攻)</u> | <u>300,000</u> | <u>800,000</u> | <u>10,000</u> | <u>1,110,000</u> |
| 帝京平成大学 | 健康科学研究科                       | 200,000        | 760,000        | 201,750       | 1,161,750        |
| 帝京大学   | 医療技術学研究科                      | 300,000        | 610,000        | 212,910       | 1,122,910        |
| 国土舘大学  | 救急システム研究科                     | 240,000        | 770,000        | 294,000       | 1,304,000        |
| 杏林大学   | 保健学研究科                        | 250,000        | 500,000        | 202,100       | 952,100          |

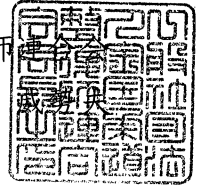
平成 29 年 2 月 22 日

日本体育大学

学長 谷釜 了正 殿

一般社団法人 全国柔道整復師

会長 田中



## 柔道整復師の人材育成に関する要望書

厚生労働省が報告した柔道整復師学校・養成施設数によると、平成 27 年では専門学校が 93 校、大学が 16 校であるのに対し、柔道整復学分野の大学院は帝京平成大学大学院、帝京大学大学院、有明医療大学大学院の 3 校のみです。これに対し、看護系大学院では 185 校（一般社団法人 日本看護系大学協議会 平成 28 年度会員校大学院）、理学療法士の大学院が 56 校（公益社団法人 日本理学療法士協会）であることから、高等教育化の流れに截然たる差があります。本会は、真の医療分野の一翼を担うべく活動を続けており、柔道整復師の人材育成に関して抜本的な改善が必要であると確信しております。

つきましては、下記についてご尽力を賜りますよう強く要望いたします。

### 記

1. 大学における質の高い柔道整復師教育の推進
2. 大学院における柔道整復師教育のさらなる推進
3. 高い倫理観と研究者としての資質を持つ柔道整復師の養成
4. 柔道整復の教育体制の構築

以上

平成 29 年 2 月 22 日

日本体育大学

学長 谷釜 了正 殿

公益社団法人神奈川県柔道整復師会

会 長 和田 秀樹



## 日本体育大学保健医療学研究科高度実践柔道整復師コース設置に関する要望書

拝啓 晩冬の候、貴校におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は本会の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本会は、柔道整復学及び柔道整復術の発達並びに公衆衛生の向上を図り、柔道整復の業務を通じて国民の健康・保健・福祉の増進を目的として活動しています。就業柔道整復師数は6万名を超え、年々増加しています。柔道整復師卒後臨床研修の実施など、柔道整復師の質の向上に関する取組がなされていますが、急激な増加に対して今後益々の臨床教育の空疎が懸念されます。特に、臨床現場で科学的根拠に基づく実践能力と指導力を備えた指導者的立場の柔道整復師が不足しております。

以上のことから、柔道整復師による更なる地域への貢献を鑑み、指導的立場の柔道整復師を養成する貴校の保健医療学研究科高度実践柔道整復師コースの設立を強く要望いたします。

敬具